

ぼらんていあ ニュース 「お届け定期便」 のご案内

ボランティアについて知りたい方、学びたい方、はじめたい方の応援誌『ぼらんていあニュース』は、年4回、季節ごとに発刊しています。文社協や区内各所に設置されており、文社協ホームページからもお読みいただけますが、郵送でご自宅にもお届けしています。「お届け定期便」ご希望の方も募集していますので、ご自宅や団体、企業あてのお届けをご希望の方は、お電話もしくはメールにて、文京ボランティア支援センターまでお申込みください。お待ちしております！



- 掲載例**
- ・ボランティア情報のご案内
 - ・ボランティア保険のご案内
 - ・ボランティア活動の取り組みの紹介
 - ・ボランティア・市民活動団体など 助成の情報



※上記QRコードからも

お届け定期便お申込先

文京ボランティア支援センター TEL 03-3812-3114 Eメール vorasen@bunsyakyo.or.jp



どっとフミコムでは、ボランティア情報やワークショップ・イベント、文京区で活動されている団体の紹介など、さまざまな地域活動の最新情報を見ることができます。気になる情報は、どっとフミコムのサイトでチェックしてみてください！



http://d-fumi.com

ご相談
ください

ボランティアに関心がある方、興味を持った方、
やってみたい！ してほしい 話を聞きたい！

など、ボランティアについての質問や問合せ、ご相談を下記、文京ボランティア支援センターまでご連絡ください。

発行 社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 文京ボランティア支援センター http://www.bunsyakyo.or.jp
〒113-0033 東京都文京区本郷4-15-14 文京区民センター4階 開所日 月～金曜日(祝日年末年始除く)
TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966 Eメール vorasen@bunsyakyo.or.jp 窓口開所時間 8:30 ~ 17:15
ぼらんていあニュースは、封入ボランティアの皆さんのご協力のもと、お届けしています。いつもご協力ありがとうございます。



ぼらんていあ ニュース

あなたらしく。
はじめる、つながる。
きっかけ応援誌！

TOPICS

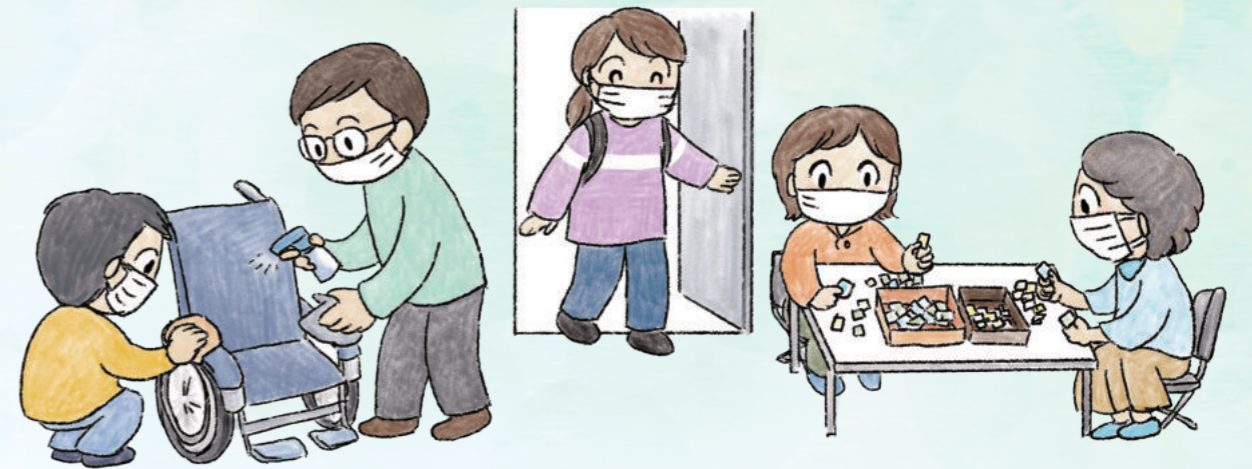
- 1 「ツキイチ」ボランティア はじめました
- 2 ボランティア募集のご案内
- 3 「文京ささえ隊養成講座」修了者へのインタビュー
- 4 ぼらんていあニュース定期便のご案内

ご自由にお持ちください TAKE FREE



「ツキイチ」ボランティア はじめました

今年度より、月1回のボランティア活動をはじめました。文京区社会福祉協議会で、切手の整理、車いすや高齢者疑似体験セットの消毒、マスクづくりなど、一緒にボランティアしていただける方を募集しています。活動の内容は月ごとにさまざまな企画をしています。1回でも、1時間だけでも、ご自由に入参いただけますので、ぜひお気軽にご参加ください。



- 実施日**
- 令和3年 6月16日(水) 7月15日(木) 8月20日(金) 9月21日(火)
10月19日(火) 11月17日(水) 12月16日(木)
令和4年 1月21日(金) 2月21日(月) 3月16日(水)

ボランティア
内容は
お楽しみに！

- 時間** 午後2時～4時
- 場所** 文京区社会福祉協議会
ボランティア活動室
※変更の可能性があります
・文京区本郷4-15-14
文京区民センター4階
- 参加対象** 区内在住・在勤・在学の方
- 出入り自由
です**

申込締切 各実施日の前日(実施日が月曜日の場合は、前の週の金曜日)までに、下記までお申込みください。

文京ボランティア支援センター TEL 03-3812-3114 Eメール vorasen@bunsyakyo.or.jp

First & Start

自宅で はじめて ボランティア

夏のボランティアに参加してみませんか？

昨年度休止させていただいた「夏のボランティア体験教室」は、スタイルを変えて実施予定です。新型コロナウイルスの感染拡大以降、対面でのボランティア活動が制限される状況が続いています。今年の夏は、今までと違ったカタチの「夏のボランティア=夏ぼら」を展開していきます。施設でのボランティア体験中心のプログラムから、ボランティア入門的な体験やご自宅でできるボランティア活動体験に刷新し、6月中旬にリリース予定です。

開催に関する詳細は、文社協HP
(<https://www.bunsyakyo.or.jp/>)
のお知らせで公開させていただきます。



/// 文京ボランティア支援センター TEL 03-3812-3114 Eメール vorasen@bunsyakyo.or.jp

Go&Do! SPORTS
ボランティア

東京ユナイテッドFC ホームゲーム試合運営 ボランティア募集

美しいだけでは物足りない、荒々しいだけではつまらない。クラブの理念でもある「文武融合」をピッチ上で具現化すべく、東京ユナイテッドFCは、インテリジェンスと闘争心を兼ね備えたフットボールを目指しています。試合運営にかかわるボランティアを募集中ですのでぜひご参加ください！

実施月日 1週間前の金曜日が申込受付締め切りです

募集対象 中学生以上で元気に活動できる方

活動内容 設営準備・片付け、試合中の担架要員、ボールパーソン(試合中のボールの回収と供給)



月日	曜日	活動時間	活動場所
7/3	土	16:30~20:30	小石川運動場
7/11	日	14:30~18:30	フクダ電子アリーナ
7/25	日	13:30~17:30	駒沢補助競技場
7/31	土	16:30~20:30	小石川運動場
8/7	土	14:30~18:30	フクダ電子アリーナ
8/15	日	16:30~20:30	小石川運動場
8/28	土	16:30~20:30	小石川運動場
9/11	土	13:30~17:30	味の素フィールド西が丘
9/20	月祝	16:30~20:30	小石川運動場

/// 文京ボランティア支援センター TEL 03-3812-3114 Eメール vorasen@bunsyakyo.or.jp

EYES ON
特集

「文京ささえ隊養成講座」を修了された方にインタビューしてきました

「おもてなしの心」と「正しい介助技術」を習得し、暮らしのさまざまな場面で活躍するサービス介助士。試験に合格し、その知識と技術を地域で活かして活動している、チーム「文京ささえ隊」のボランティアに加わってくださったお二人にお話をうかがいました。

●養成講座に参加されたきっかけは？

丸山さん すでに親を介護し看取ったあと、社会への関わりなど人生における次のステップについて「自分になにができるか」ということをずっと考えていたときに、区報ぶんきょうの情報を見ました。たまたま見かけたのですが仕事が忙しい頃でしたので、「こんなのがあるんだ」くらいだったのですが、そろそろゆっくりでもいいので始めてみようと思いました。

昨年春頃、「何かできることはないか」と文京ボランティア支援センターに電話し、ボランティア情報が載っている情報誌、ぼらんていあニュースを送っていただきました。そこで養成講座を知り、やってみようと思ったのがきっかけです。ライフステージのなかでポイント、ポイントでのタイミングが上手くマッチングした感じですね。

塚田さん チームささえ隊1期の方と知り合いになって、いろいろ教えてもらってやってみようと思いました。説明会や講習会などに必ず行けるかどうかかわらなかったのですが、まずは「やってみる」という意思表示が大事かなと思い、参加を決めました。

PTAをしていたことがあり、地域のお祭りが楽しかったのですが、娘が地元から離れた学校へ通学するようになると、とたんに地元との接点がなくなりロス状態になりました。チームささえ隊に入ってみると、社会につながっている方とお会いできるのでいろいろな体験も聞け、交流を通じて新しいつながりが生まれて人生の幅が広がりました。

●養成講座を受けてみて、どんな気づきや変化が？

丸山さん 困っている方がいれば声をかけて、手伝ってあげるのが一番いいと思ってたんですが、ゆっくりであっても本人がやる、できないことを助けるという勉強をして、自分勝手な知識とイメージではダメなんだとわかりました。養成講座を受けて、今までとはあきらかに見えた、考え方が変わりましたね。

塚田さん 場所や相手の状況によって違うなと思いました。「お困りですか?」ではなく「手伝いましょうか?」の精神や、当事者の方の鋭いアドバイスは聞かないと気がつかない点でした。とにかく現場に出て人と触れ合っていて、そこで関わった人の話を聞いて、というのがこれからできたら面白いなと思います。

●どのような活動に活かしたいと思いますか？

塚田さん 親が老いていきますから自分の中にも悩みはあるんです。でも、できるうちにいろんな方と関わっていくことが大切のかなと思います。いろんな方にお会いでき、またそこから教わったり、教えたり。いろんな人との関わりがまわり回っていけばいいですね。

丸山さん なにか制約があって出かけられないとか、楽しめないなど、思うようにいかないことがある方の助けができればいいなと思います。チームささえ隊のなかで私が動ける時間に何かできることがあれば、声かけしてもらいたいです。



丸山 小百合さん(左)と塚田 明子さん(右)

文京ボランティア支援センターでは
さまざまな講座を開催しており、
ぼらんていあニュースなどでお届けしています。
詳しくは裏面をご覧ください。